

第 1 3 回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日 時 平成 8 年 5 月 2 2 日（水）
 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0
2. 場 所 委員会会議室
3. 議 題 (1) 前回議事要旨の確認について
 (2) 安全評価部会報告について
 (3) 平成 9 年度宇宙開発に関する調査審議について
 (4) H - II A ロケットの検討状況について
 (5) 宇宙往還技術試験機（H O P E - X）の進捗状況について
 (6) 技術試験衛星Ⅶ型（E T S - Ⅶ）の進捗状況について
4. 資 料 委 13 - 1 第 1 2 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 委 13 - 2 H - II ロケット 4 号機による地球観測プラットフォーム技術衛星(ADEOS)及びM - V ロケット 1 号機による第 16 号科学衛星(MUSES-B)の打上げに係る安全対策について（報告）（案）
 委 13 - 3 平成 9 年度宇宙開発に関する調査審議について（案）
 委 13 - 4 H - II A ロケットの検討状況について
 委 13 - 5 宇宙往還技術試験機（H O P E - X）の進捗状況について
 委 13 - 6 技術試験衛星Ⅶ型(ETS-Ⅶ)の進捗状況について

委 1 3 - 1

第 1 2 回宇宙開発委員会（定例会議） 議事要旨（案）

1. 日時 平成 8 年 5 月 8 日（水）
1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0
2. 場所 委員会会議室
3. 議題
 - (1) 前々回及び前回議事要旨の確認について
 - (2) N A S A 戦略計画について
 - (3) 宇宙通信の将来像と今後の研究開発の推進方策について
 - (4) 第 1 8 回宇宙ステーション利用計画ワークショップの開催について
4. 資料

委 1 1 - 1	第 1 0 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
委 1 2 - 1	第 1 1 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
委 1 2 - 2	「N A S A 戦略計画」について
委 1 2 - 3	第 1 8 回宇宙ステーション利用計画ワークショップの開催について
5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理	野 村 民 也
宇宙開発委員会委員	山 口 開 生
〃	末 松 安 晴
〃	長 柄 喜 一 郎

関係省庁	龍 野 孝 雄（代理）
運輸省運輸政策局次長	岡 井 元 〃
郵政大臣官房技術総括審議官	中 西 釦 治 〃
文部大臣官房審議官（学術国際局担当）	

事務局	加 藤 康 宏
科学技術庁研究開発局長	間 宮 幸 馨
科学技術庁長官官房審議官	林 幸 秀 他
科学技術庁研究開発局宇宙政策課長	

6. 議事

(1) 前々回及び前回の議事要旨の確認について

第10回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（資料委11-1）及び第11回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（資料委12-1）が確認された。

(2) NASA戦略計画について

宇宙開発事業団より、資料委12-2に基づき、「NASA戦略計画」（1996年2月改訂）について、同計画がNASAの長期的な行動計画を明らかにしたものであり、今回の改訂において、5項目の戦略事業のロードマップの設定、フィールドセンターの役割再決定、NASA変革のための戦略の確定などを示している旨の説明が行われた。

これに関し、委員より、衛星コストの低減目標数値等の事実関係の確認の他、NASAと民間との間での地球観測データの利用、技術開発の役割分担等について質問がなされた。

(3) 宇宙通信の将来像と今後の研究開発の推進方策について

郵政省より、衛星を巡る世界の潮流、衛星の多様なアプリケーションの拡大、衛星開発をとりまく環境の変化を踏まえ、宇宙通信の将来像はどうあるべきか、今後の研究開発はどのように進めるべきかについて、電気通信技術審議会において審議が行われ、5月末を目途として取りまとめ作業が行われている旨の説明が行われた。

これに関し、委員より、国が開発する衛星通信技術の実用化への考え方、米国技術へのチャッチアップではない先端的かつ独創的な開発及び軌道上実験の方法についても検討が必要であること、等の発言があった。

(4) 第18回宇宙ステーション利用計画ワークショップの開催について

事務局より、資料委12-3に基づき、平成8年5月27日、28日に開催される第18回宇宙ステーション利用計画ワークショップについて、本ワークショップは宇宙ステーション利用に関する我が国並びに各国の取り組みを紹介し、意見交換を行うことにより、利用者の理解を深め、利用計画の策定に資することを目的として、科学技術庁、宇宙開発事業団、

（財）宇宙環境利用推進センターが主催して行われるものである旨の説明が行われた。

以上